

主な整備効果

交通の円滑化

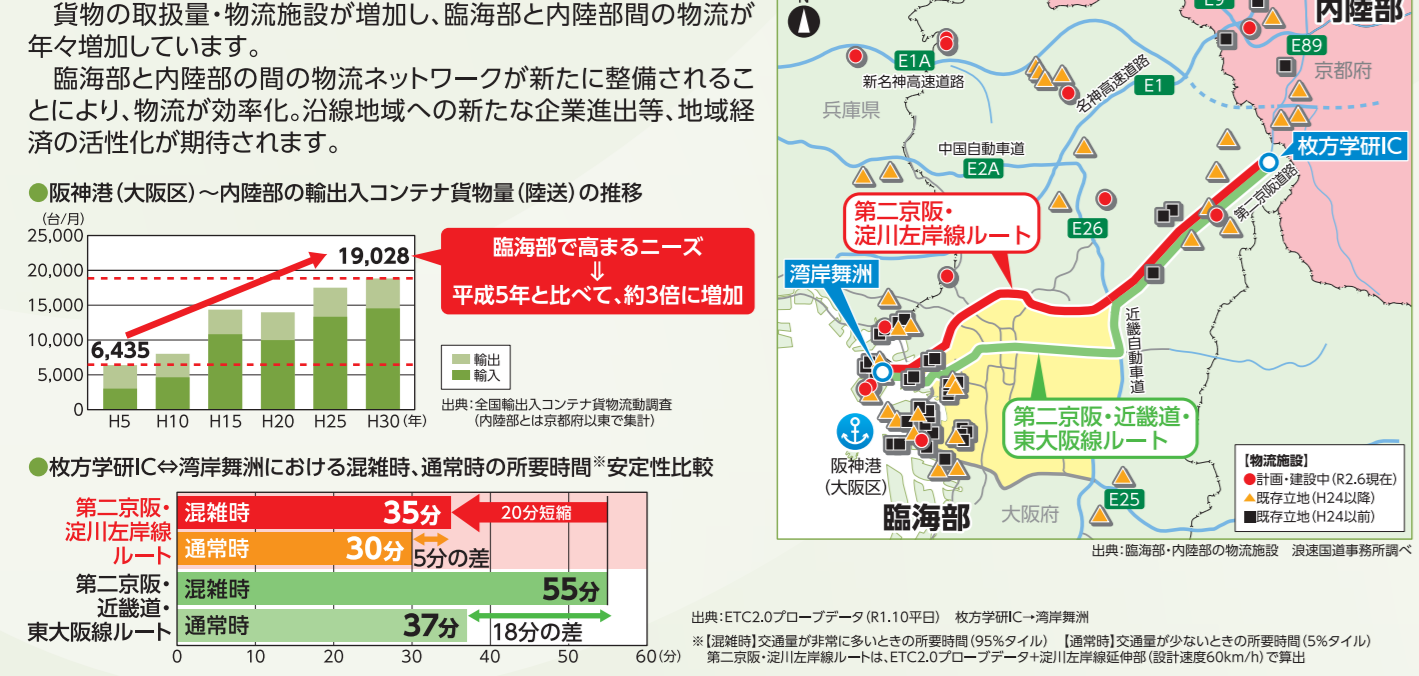
阪神高速では都心部を避けるルートがなく、交通が集中し渋滞しています。大阪都市圏の外周をネットワーク化することで都心部に用事のない交通を外周に転換し、交通を円滑にします。



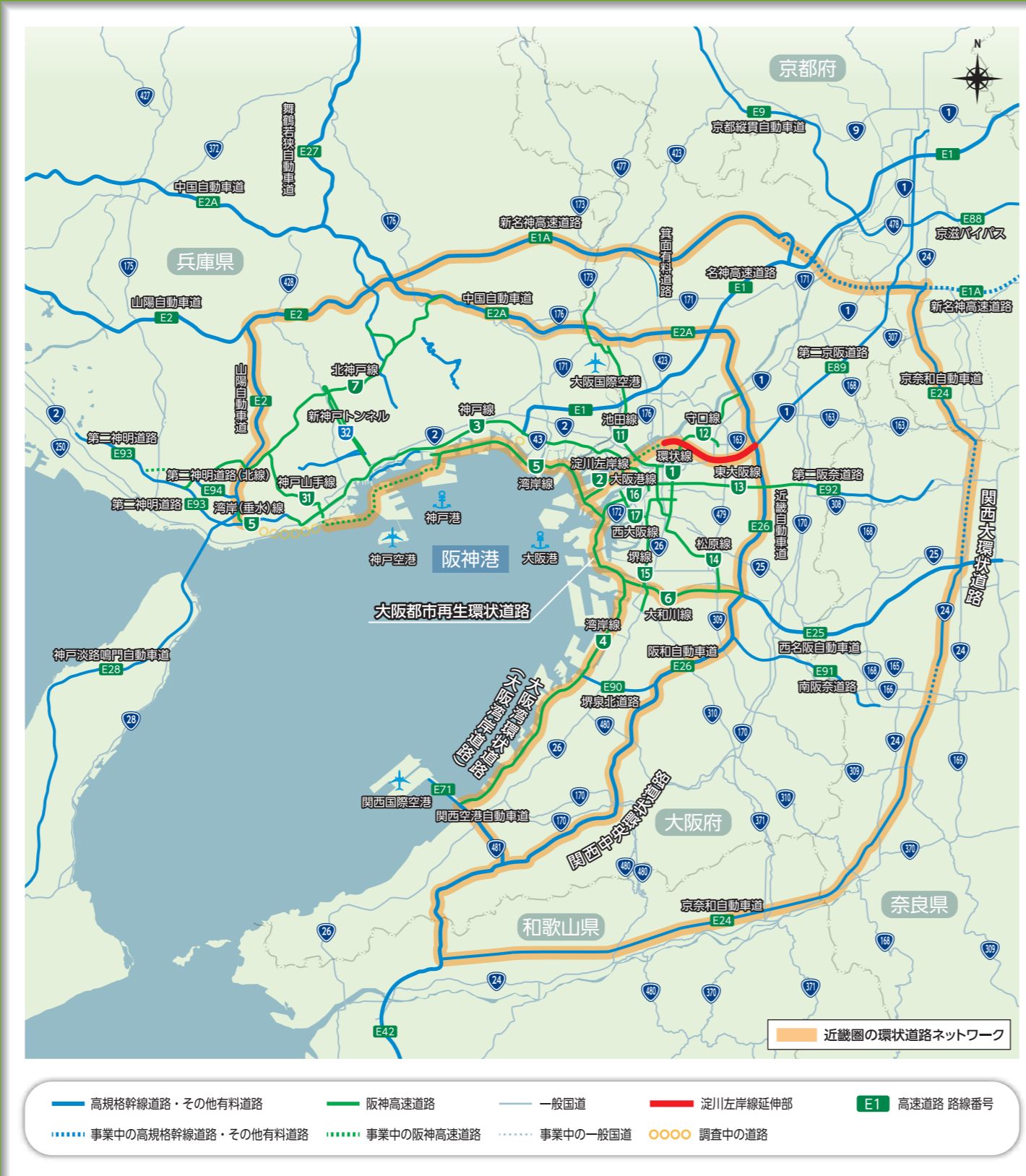
迂回機能の確保



地域の活性化



淀川左岸線延伸部 関西の夢・まち・未来をつむぐ道



国土交通省 近畿地方整備局 浪速国道事務所
 〒573-0094 大阪府枚方市南中振3丁目2番3号
 TEL | 072-833-0261 (代表) FAX | 072-833-9424

淀川左岸線延伸部出張所
 〒573-0094 大阪府枚方市南中振3丁目2番3号
 TEL | 072-833-8590 (代表)

道路緊急ダイヤル #9910
 全道共通 24時間受付 無料

西日本高速道路株式会社 関西支社 新神大大阪事務所
 〒573-1171 大阪府枚方市三栗2丁目5番1号
 TEL | 072-809-4740 (代表)

阪神高速道路株式会社 建設事業本部 大阪建設部 淀川左岸線建設事務所
 〒553-0003 大阪市福島区福島7丁目15番26号
 大阪YMビル10F TEL | 06-6136-6440 (代表)

淀川左岸線延伸部 (国道1号)



Kadoma
Moriguchi
Osaka
Tsurumi
Osaka
Joto
Osaka
Miyakojima
Osaka
Kita

関西の夢・まち・未来をつむぐ道

淀川左岸線延伸部 (国道1号)

計画概要

淀川左岸線延伸部は、政府の都市再生プロジェクトとして位置づけられた「大阪圏の新たな環状道路(大阪都市再生環状道路)」の一部を構成する道路で、門真市ひえ島町から大阪市北区豊崎を結び延長8.7kmの自動車専用道路です。

第二京阪道路と接続することにより、大阪ベイエリア(阪神港・夢洲・咲洲地区)と名神高速道路などの主要な高速道路を結び、物流の効率化や周辺地域との連絡強化による大阪・関西の経済活性化、競争力強化、災害時の避難・救援活動を支える重要な路線です。

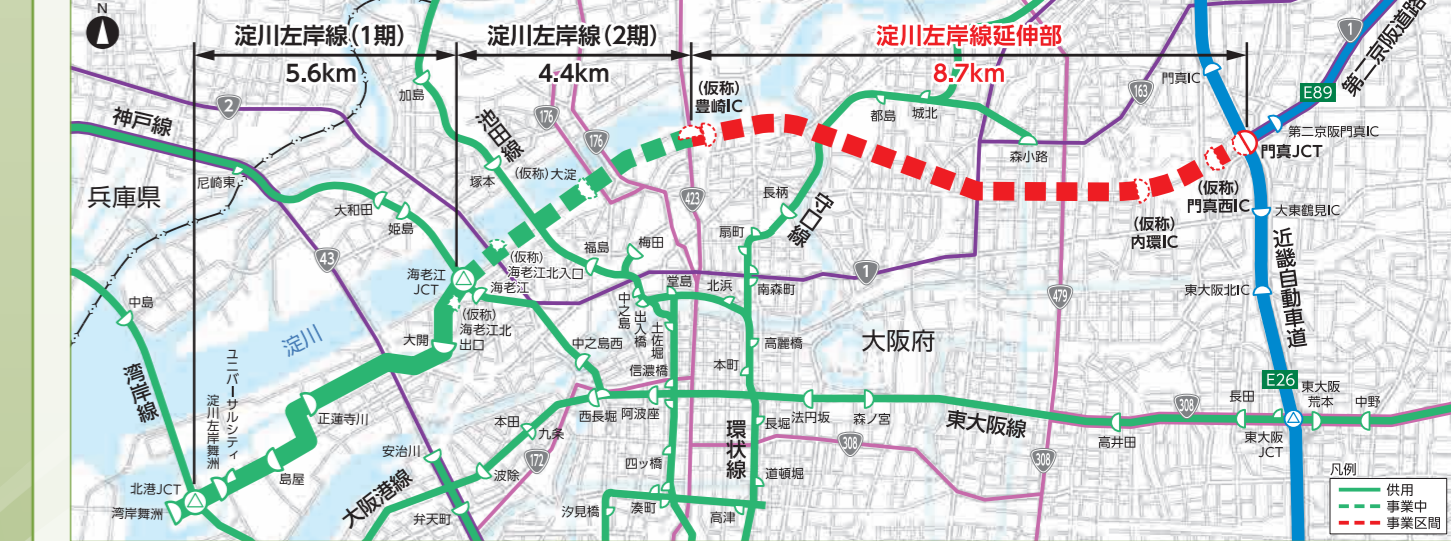
計画諸元

道路名	国道1号 淀川左岸線延伸部
事業区間	門真市ひえ島町～大阪市北区豊崎
延長	8.7km
道路規格	第2種第2級
車線数	4車線
設計速度	60km/h

事業経緯

平成13年 8月	都市再生プロジェクトに淀川左岸線延伸部が位置づけ(第二次決定)
平成16年 3月	淀川左岸線延伸部有識者委員会によるPIプロセス導入
平成18年 12月	淀川左岸線延伸部有識者委員会による提言
平成28年 11月	都市計画決定
平成29年 4月	事業化

全体図



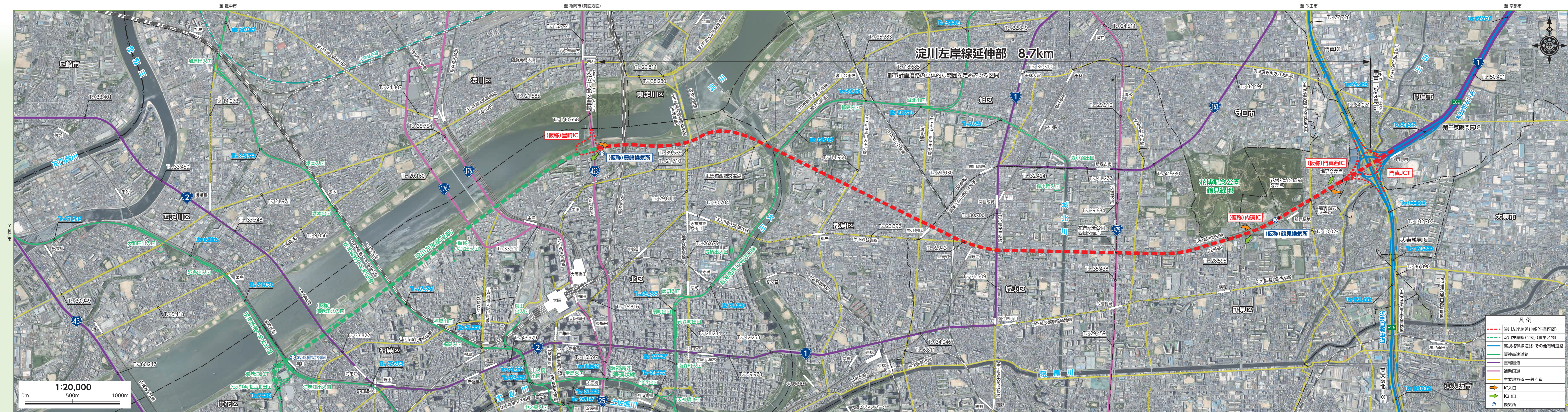
大深度地下使用

大深度地下空間とは、大都市において一般的な高層建築物の基礎などの建設に使用されない地下の空間を、道路・鉄道など公共的な施設の設置のために活用する地下空間のことを指します。

淀川左岸線延伸部では、沿道地域の環境に配慮しトンネル構造を主体に計画しており、一部の区間においては、大深度地下空間を活用します。

●大深度地下使用手続きの流れ

- 事業計画書の作成
- 事業計画書の審査
- 事業計画書の公表
- 使用目的申請書
- 申請書の公告・縦覧
- 協議会又は評議会の開催
- 利害関係者の意見提出
- 関係行政機関の意見の聴取等
- 協議会の開催
- 告示
- 登録の閲覧



Copyright NTT空間情報 All Rights Reserved.

立体的な範囲を定めている都市計画

通常の利用が行われない大深度地下空間において、道路整備に必要な空間だけを都市計画道路の「立体的な範囲」として都市計画に定めています。これにより、地上面および地下※1を従来どおり利用できます。

トンネルは、一般的な高層建築物(50階建て程度)の建築物荷重を想定しているため、通常の建築物等の建築には影響ありません。

※1 地上面から都市計画道路の立体的な範囲までの地下空間
 ※2 支持地盤-一般的な高層建築物の基礎杭が支持できる地盤(地質調査結果より)杭の許容支持力2500kN/m以上を有する地層を指した仮称の地盤層
 ※3 大深度地下空間については今後、「大深度地下の公共的使用に関する特別措置法」の使用認可を受けて決定されます

